校訓　「文武不岐」

小青松

大仙市立角間川小学校
令和７年６月４日
学校報　第14号

創立１５０周年　「ま・え・む・き」角小

仙台松島の旅～思い出の二日間～

スマイル学年修学旅行

６年生、角間川小学校・藤木小学校合同の修学旅行が５月27日・28日に行われました。最高の天気に恵まれ、思い出いっぱいの二日間になりました。

今年は、初めて宮城県にある震災遺構仙台市立荒浜小学校を見学しました。荒浜小学校は、東日本大震災による津波が校舎２階まで押し寄せ、大きな被害を受けた学校です。津波の脅威や教訓を後世に伝えるために当時のままの校舎が残されています。14年前から時が止まったかのような校舎に子どもたちも大きな衝撃を受けました。大きな地震を経験したことのない子どもたちでしたが、この見学を通して地震や津波の恐ろしさ、災害への備えの大切さを実感しました。

そのほか、国宝「瑞巌寺」の見学、日本三景の松島遊覧、笹かまぼこづくり体験、仙台うみの杜水族館の見学、八木山ベニーランドでの遊園など、見学や体験が盛りだくさんの修学旅行でした。仙台うみの杜水族館では、当日の朝生まれたばかりのバンドウイルカの赤ちゃんを見ることもできました。八木山ベニーランドでは、待ち時間もなく、思う存分乗り物に乗って楽しむことができました。ホテルでの時間も楽しく、友情を深め、笑顔いっぱい思い出いっぱいの最高の二日間となりました。

心の花を咲かせよう

５月30日（金）、人権の花植栽を行いました。この「人権の花運動」は、花の苗を植えたり水やりや除草などの世話をしたりすることを通して、生命の尊さを実感し、豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することをねらいとして行っています。

始めの会で人権擁護委員の和田美砂子さん（学校評議員も務めていただいております）からお話をしていただきました。一人一人の人権を守り、みんなが明るく楽しく生活できるようにするためには、「あいさつ」「笑顔」「思いやり」が大切であることを教えていただきました。さらに、「思いやり」の気持ちは、言葉や態度に出して相手に伝えることが大切であることを子どもたちの心に響くようにお話ししてくださいました。また、昨年の人権標語コンクールの標語や作文なども紹介していただきました。小学生にとって「人権」の意味を理解するのはまだ難しいのですが、どうしていくことがよいことなのか分かりやすくお話ししていただき、子どもたちも真剣に聞き入っていました。

始めの会終了後、学年ごとに前庭の花壇にジニアの苗を丁寧に植えました。今週は、朝、登校してくるとすぐ水をあげている子どもたちがたくさんいました。水やりをしながら友達と楽しそうに話している姿も微笑ましく感じられます。この後も、みんなで大切に育てていきたいと思います。子どもたちが、この花に負けないくらいの「笑顔の花」「優しい心の花」をたくさん咲かせてくれることを願っています。

今年も大曲人権擁護委員会と大曲環境協議会からご支援をいただき、たくさんの花を植えることができました。また、大曲環境協議会からは、全校で植えたさつまいもやゴーヤの苗などもいただいております。こちらも収穫を楽しみにしながら、大切に育てていきます。

震災遺構 荒浜小学校見学

松島観光物産館にて

笹かまぼこ作り体験　　ホテルでの楽しいひととき